

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表： 令和2年3月31日

事業所名： 第2あづみ園

保護者等数(児童数 45(44))

割合

84 %

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	6		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの公園に連れて行ってもらっているのが良いと思う。</li> <li>・小さい子にはちょうどいい年齢に合ったスペースだと思います。</li> <li>・もう少し広くてもいいと思う。</li> <li>・別の子のものが入っていたり、息子の物がない時があり、先生が少ないのかなと思いました。</li> <li>・他の施設を見学して見て子どもどこで何をすることがわかりやすいと思う。</li> <li>・広い園庭もあり、中も十分は広さで思い切り動けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち物を間違えて持たせた件について…帰り際の慌ただしい時ではなく、昼食後、こども達地震が必要がないものはカバンにいれられるように絵カードなどで確認させ、職員同士も子どもが来ているか確認しあうようにする。</li> </ul>
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	30	1	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切であると思います。</li> <li>・十分だと思いますが、専門性が高いのでよくわかりません。</li> <li>・水たまりの板が時々、ダウン症の息子にはつまずく原因になっていた。</li> <li>・誰に言っても情報が伝わっているのうれしいです。</li> <li>・人数が少ないと感じることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員人数が少ないと思われる件…職員配置としては十分満たしているが、降園時にバタバタしており、保護者と十分話せていないことが原因と思われる。送迎バスによる子どもは早めに玄関から出すなどしてお迎えに来た保護者としっかり話が出来るようにする。</li> </ul>
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34	2		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごちゃごちゃしておらずとても良い環境だと思います。</li> <li>・一日のプログラムが絵を使用し提示してあるので子どもたちもわかりやすいと思います。</li> <li>・子どもが目で見分けるようになっていると思います。</li> <li>・何がどこにあると理解して動けている。</li> </ul>	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	35	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長先生始め他の先生方もよく掃除されていて安心です。</li> <li>・お迎えの時、先生方が掃除をされているのを見かけるので清潔にされていると思います。</li> </ul>	
	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	36	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても解りやすく作成されています。</li> <li>・子どもの様子をよくわかってくださっていると思います。</li> </ul>	

適切な支援の提供	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28			9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインの内容を理解していき、把握できていないので解らない。</li> <li>・あづみ園での給食の際の接触指導は大変助かっています。なかなか普段の食事の様子を見てもらう機会がないので、困っていることを伝えやすいです。</li> <li>・説明いただいたかもしれませんが、ガイドラインがわかりません。</li> <li>・どういうことなのかよくわからない。</li> </ul>	・ガイドラインがわかるように年度始めなどに明確に知らせる。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	34	1		2	常に計画に沿って行われており、達成したら新しい計画をしてくださっています。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	32	2		2	達成するか？しないか？で固定化になるか？ならないか？になりますが、工夫されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが夢中になれることを大切にされていると思います。</li> <li>・その時の子供の成長を見ながらどのように進めて行くか考えてくれている。</li> </ul>	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	6	9	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うちの子は認定にいらっているので他児や園であるか？どうか？はわからない。</li> <li>・併行通園の為、どちらともいえない。</li> <li>・第2あづみ園は保育園と併行通園させて頂いているので子ども達は様々な子と交流があります。</li> <li>・今は週2回の利用だからありません。</li> </ul>	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	2		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>解らない時に尋ねるとその都度教えて頂けます。</li> <li>・保育所でもみんなと同じ食費を払っており、二重に感じる。</li> </ul>	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	32	1		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に説明を受けてます。</li> <li>・児童発達支援計画については説明を受けたが、ガイドラインについての内容については理解できていない。</li> </ul>	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	29	1	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とてもよくしていただいています。</li> <li>・特別な枠組みの中ではありません。</li> <li>・クラス懇談の時に、勉強会があつてそこでどう子どもに接したらよいのか考える機会があつたので良かった。</li> </ul>	

⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・常にその日の様子であったり、伝えていただけますし、こちらも色々とお伝えするとそれに答えて頂けてますし、理解できていると思います。</li> <li>・とてもよくしていただいています。</li> <li>・各施設で連絡ノートの細かさが違う小さい子の施設だからこそ日々の状況を詳しく書いてほしいと思うことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートへ子どもの様子だけでなく、指導者が行った支援や結果を明確に書くように指導する。</li> </ul>
⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談は決まった時期にありますが、気になることがあれば常にお話を聞いてもらえますし、助言をたくさんいただけます。</li> <li>・とてもよくしていただいています。</li> <li>・個別のたびに困っている事等聞いて下さるので相談しやすいです。</li> <li>・心理・言語の個別指導で声のかけ方、やりとりなども勉強になっています。</li> <li>・気軽に相談でき助かっています。</li> <li>・個人懇談が年に2回、クラス懇談が月に一回、個別指導でも話をする機会があるので良いと思います。</li> <li>・仕事をしており、なかなか話す機会がなく、ノートのやりとりになっています。</li> </ul>	
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	10	1	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士ではない。あまり話しをしないので。</li> <li>・とてもよくしていただいています。</li> <li>・懇談の時に意見交換の様な感じはありますが、保護者同士の連携はありません。</li> <li>・親子活動では色々な方の意見が聞け、勉強になります。</li> </ul>	
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	34	1		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>迅速、適切で真剣に考えて下さるのでありがたく思っています。</li> <li>・今年度中に紙パンツは卒業は難しいですが、保育園と同じようにして頂き助かっています。</li> <li>・親子活動の時に兄弟を連れて行った際、一緒に活動に参加させてもらい助かりました。</li> </ul>	
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	1		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>事細かにされていると思います。</li> <li>・家庭でのトラブルも聞いていただき、一人でかかえこむことなく出来ました。</li> </ul>	

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29	1		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常にきちんと発信されていると思います。</li> <li>・ホームページ等のチェックをしていないのでわからない。</li> <li>・具体的にはどういうことなのか言われていないとわからない。</li> </ul>	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	31	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分だと思います。</li> <li>・ごくまれに友だちのプリントが入っていたりする。</li> </ul>	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	19	5	1	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・されていると思います。</li> <li>・マニュアルのみに内容までわからない。</li> <li>・保護者参加の訓練はありません。</li> <li>・マニュアルはあると思いますが、説明などはなかったと思います。</li> </ul>	・防災に関する取組や避難場所を明確にする。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	4	2	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的きちんとされていると思います。</li> <li>・週2回の利用だから、多分行われたことは無いと思います。</li> <li>・避難訓練をしたと連絡帳で教えてもらうことがあった。保護者は実際に見たことがないのでどんなことをしているのかわからない。</li> </ul>	避難訓練の実施状況を園便りなどで明確に知らせていく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	31	2		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明日はどこ行くの？と聞かれ、あづみ園は～と言うと、ヤッターと喜んでる。</li> <li>・定期的に「あづみ園たのしい？」等尋ねてみたりしますが、「毎日たのしいよ～」と肯定的な返事です。行き渋ったこともありません。</li> <li>・保育園よりも「次のあづみ園はいつ？」と楽しみにしています。</li> <li>・本人は連れられるまま登園しています。嫌いではないと思います。</li> <li>・楽しみに通ってます。今日は何をすのかなと話しながら送迎しています。</li> </ul>	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	34			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足です。</li> <li>・大変満足しています。3歳までしか通えないのが残念です。</li> <li>・通い始めてとても伸びたと思います。去年は一日だったとのことなのでもう少し時間が長ければと思います。</li> <li>・相談したことに対するの答えが早く、生活で困っていることのアドバイスが助かっています。</li> <li>・相談もしっかり乗ってくださるので安心して過ごさせています。</li> </ul>	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表:平成 31年 3月 4日

事業所名 第2あづみ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	中央の壁が開けられるようにして、活動に応じて広さを調整できる。	
	②	職員の配置数は適切である	8	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	3	活動、昼寝、食事などのそれぞれの空間を部屋ごとに分けている。	車いすに対応した作りになっていない。 車いす利用児に対してはバリアフリーとまでは言えない。段差に対してアプローチをつける工夫が必要。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		雨天時も体を動かして遊べるように巧技台を使って滑り台やジャンプ台を設置している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	5			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		ホームページに提示している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		月に一回職員研修を実施している。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		入園時面接面接を行い、事前に話をする機会を作っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3		



援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	3	保護者の子育てに対する困り感を尊重し、支援計画を作成している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		支援内容が計画からそれた場合は見直しを行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼時に活動内容の確認を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	6		必ず行っていない。必要に応じて行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	1	年間計画に懇談日程を組み込んでいる。	
	関 係 機 関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2		
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	3		主治医以外との連携はとれていない。

や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		カンファレンス会議への参加をお願いしている。 移行先の園に出向いて子どもの様子 と支援内容について話す機会を設けている。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4		事業所単位では行っていない。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	6		障害のない子どもとの交流はない。 連携で他園に見学に行くが、触れ合うことはあまりない。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	4		
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7		保護者参観の活動に沿って実際に子どもへの声掛けや接し方のやり方を知らせ、また、保護者自ら考えて行けるようにしている。	
保護者へ	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5		

の 説 明 責 任 等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	8			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7		
非 常 時 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	7	1		保護者に伝わっているかわからない。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		アレルギー対応の必要の確認と、必要な方には指示書の提出をお願いしている。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		虐待防止の為の研修とまでは言えないが、保護者にみてもらえ説明できることをしている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	3		保護者に事前に確認しているかはわからない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。